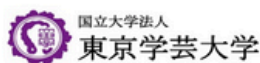


Let's TANQ便り

「探究的な学びの実践コミュニティ」拡大に向けたニュースレター



近畿日本ツーリスト×東京学芸大学 「学校支援コーディネーター養成研修会」 を実施

～学校と協働し、学校を支援する
スペシャリストを育成～

東京学芸大学高校探究プロジェクトでは、近畿日本ツーリスト株式会社と連携し、学校を支援し、学校と協働できる教育旅行営業担当者の育成を目的とした「学校支援コーディネーター養成研修会」を実施しました。2023年度は20名近い営業担当者が受講され、全課程終了後、資格条件を満たした方を学校支援コーディネーターとして認定しました。



学校支援コーディネーター
認定バッジ

「高校探究プロジェクト」4年目の活動スタート！

2021年度から、高校教員の「探究的な学びの実践コミュニティ」の創出を目指して活動してきた高校探究プロジェクトも、この春、バージョンアップします。

3年間、様々な立場のみなさまと形成してきた「探究的な学びの実践コミュニティ」の拡大を目的として、その鍵となる校内での意識合わせ、実装化を推進するリーダーの育成、校外の諸企業・機関との連携の促進に焦点を当て、活動を展開していきます。

2024年度は、近畿日本ツーリスト株式会社との同時プレスリリースでスタートしました。

昨年度、近畿日本ツーリスト株式会社と連携し、学校と協働し、学校を支援できる教育旅行営業担当者の育成を目的とした「学校支援コーディネーター養成研修会」を実施しました。

「学校支援コーディネーター」認定 オープンバッジを授与

今回の研修会においては、「総合的な探究の時間」を活用し、学校行事として最も身近な修学旅行に新たな価値を見だし、教育旅行営業担当者が、主体的に学校に企画・提案できるようになることを目的として、夏に4日間のワークショップを実施し、9月から「実践」に入りました。そして、2月に、お互いの「実践」を省察するとともに、パフォーマンス課題に取り組んでいただきました。20名近い営業担当者が受講され、全課程終了後、資格条件を満たした方を学校支援コーディネーターとして認定し、オープンバッジを授与しました。

今年度は、さらに現場での「実践」につなげていただくために、初級認定者対象の「中級編」のプログラムを開発し、実施する予定です。

高校探究プロジェクトでは、教育旅行分野にとどまらず、他分野における「探究支援コーディネーター」養成を見据えた展開を探りたいと考えています。



研修の様子



近畿日本ツーリスト教育旅行事業部長
宮本 健一 (写真左)
高校探究プロジェクトリーダー
西村 圭一 (写真右)

「ミニ探究」教材開発ワークショップ（3回シリーズ）で開催予定！

新たに教科横断の「ミニ探究」教材の開発とその授業デザインをするワークショップを3回シリーズで開催します。第1回は、教科を越えたチームを結成し、「ミニ探究」の題材・素材を検討・分析します。第2回は、題材に対して、先生それぞれがご自身の担当教科の見方・考え方を働かせて様々な問いを持ち寄り、「ミニ探究」教材を開発します。第3回では、教材をもとに探究ストーリーを構成し、4～6回程度の「ミニ探究」の授業デザインに取り組みます。こういった「ミニ探究」教材を、教科を越えたチームで開発するプロセスが、先生方ご自身の「教科と総合の相互還流」であり、探究の場になると考えています。

また、開発する「ミニ探究」教材群を扱う授業は、生徒が自立的に問いを立てるところから行う探究の前段階（例えば、高1の1・2学期）で、問いをもち、問いをつなぐ探究マインドを学ぶとともに、文理の枠を越え複数の教科の見方・考え方を総合的・統一的に働かせる機会になると考えています。「ミニ探究」教材の開発を通して、私たち教員自身が、多様な見方・考え方を獲得するプロセスを体験してみませんか。



これに先だって、3月18日に、左記のプレ・ワークショップとして「教科横断プログラム教材開発ワークショップ」を実施しました。

高校探究プロジェクトと長崎県文理探究科連絡協議会との連携における取組の一つとして、長崎県立大村高等学校にて、学校設定科目「OMURA STEAM LABO」（教科横断プログラム）の中の「哲学入門」を「公共」の授業と位置づけ、授業研究を実施しました。この事例をもとに、「総合的な探究の時間」に組み込める教科横断プログラムの教材開発に向けて対話するワークショップとなりました。

このワークショップの内容や参加者の声などを、Webページに掲載しております。また、当日の様子を取材され、「内外教育」に掲載されました（第7156号、4月16日）。

研修プログラム開発ワークショップ 6月23日に開催！

東京学芸大学
高校探究プロジェクト

Design
PROCESS

研修プログラム 開発Workshop

夏の校内研修を見据えて、**研修プログラム**をデザインしてみませんか。
チームによる研修デザインのプロセスを体験できるワークショップです。

開催日時：2024年6月23日（日）10:00～12:00
対 象：高校教員の研修に関わる指導主事等、校内研修等の担当の方、研修デザインに関心がある方等

形 式：Zoomによるオンライン開催

昨年度は、本プロジェクトのワークショップにご参加いただいた指導主事の方々のお悩みやご要望をもとに、「研修プログラム開発ワークショップ」（第1弾～第3弾）を開催しました。ワークショップを通して、地域を越えた方々と共創する意義や可能性を実感させていただきました。

2024年度は、「指導主事としてのエージェンシーをどのように発揮するか」「自県の先生方が笑顔で授業に向かえるように研修講座を充実させたい」「研修の成功のカギは『め線あわせ』になる」といったお声をうけて、**実践的な研修プログラムのデザイン力の育成を目指したワークショップ**を開催します！

2024年度の第1回は、6月23日に、「夏の校内研修」をテーマに開催します！ 地域を越えた方々でチームを結成し、研修プログラムをデザインしていただくと同時に、研修デザインのプロセス（下図参照）を体験していただきます。構想されたプログラムは、高校探究プロジェクトのワークショップ等でフィールドトライアルする機会を設けたいと考えています。フィールドトライアル後には、報告および省察の場まで設定する予定です。

フィールドトライアルさせていただける教育センターや学校等も募集します。ご関心をお寄せいただける方はお問い合わせください。

案内および参加者の募集は、5月初旬の予定です。多くのおみなさまのご参加お待ちしております。

